

令和2年度 学校評価

内子町立小田小学校

- 1 実施期日 令和2年12月～令和3年2月
- 2 対象 保護者36名 児童53名 教職員12名
- 3 学校教育目標 ふるさとに誇りをもち、自ら学び、自ら考える児童の育成
- 4 結果

評価結果は、「そう思う・だいたいそう思う・あまり思わない・思わない・分からない」の5つの選択肢の内、「思う・やや思う」を肯定的意見、「あまり思わない・思わない」を否定的意見としている。

	アンケート項目	取組	評価結果	関係者評価委員・保護者意見等	考察・改善
児童の様子	1 児童は楽しく学校に通っている。	児童の言動に気を配り、些細な変容にも気付くよう、教職員間でも子どもたちの様子についての情報を共有するようにしている。 「児童の話聞く」という姿勢で、児童と接するように努めている。	肯定的意見 保護者 94% 教職員 100% 児童 100% 否定的意見 保護者 6% 教職員 0% 児童 0%	受け持ちに関係なく、温かく接していただきうれしく思う。	朝の会や終わりの会で友達の良いところを発表し、お互いを認め合う雰囲気作りを行った。 仲間作りに力を入れ、みんなで協力する雰囲気が高まることで思いやりの心も育っている。
	2 児童は、授業が「分かりやすい」または「楽しい」と思っている。	「1時間で、どんな力を身に付けさせるのか」を明確にし、授業に臨んだ。 漢字や計算の反復学習を行ったり、毎月、月末テスト（漢字・計算）を実施したりして、基礎・基本の定着を図った。 学習教室「学び舎」を開設して外部講師を招き、放課後の補充学習を行った。	肯定的意見 保護者 89% 教職員 82% 児童 98% 否定的意見 保護者 11% 教職員 18% 児童 2%	公開授業で、積極的に挙手をし、自分の考えを堂々と述べることができおり、感心した。 学年に応じた聞く姿勢や発表ができていると感じる。 子ども達の成長がすごいと思った。 保護者の方々の肯定的意見が多く、学校内を見ても英語など工夫されている。 まだ低学年のため、毎日宿題の確認をしている。「学び舎」などで、宿題をすませて帰る時はありがたい。 保護者からも好評であり、今後も継続をしてほしい。	学級担任全員が研究授業を行い、授業後には校内研修でよかった点や改善点について話し合い、授業改善を図った。 月末テストに向けての学習を継続的に続け、漢字・計算ともに効果的だった。 児童は、学習教室「学び舎」に意欲的に取り組み、保護者からも好評で、参加人数や内容を検討して、来年度も継続していく。
	3 児童は、家庭で学習する習慣が身に付いている。	臨時休校となった5月24日までは、1週間単位で学習課題を設定して、家庭訪問時に回収、採点をして返し、休み中の学習の見取りを行った。 それぞれの学年の実態に応じた量の宿題や自主学習を家庭学習とした。	肯定的意見 保護者 91% 教職員 91% 否定的意見 保護者 9% 教職員 9%	今年になって勉強をする時間が増えたとし、楽しそうに宿題をしている。 宿題の量が少ないと、ついていけるだろうかと不安がある。	臨時休校中にはプリント等を配布し、前年度の復習をしっかりと行い、授業再開に備えることができた。 児童の実態に応じた家庭学習の量になるように考えていきたい。
	4 児童は、進んであいさつをしている。	朝の挨拶運動をコロナウイルス感染症予防の観点から行わなかった影響もあり、児童の挨拶の声が小さくなったため、3学期には元気な挨拶を全校に呼びかけて奨励した。	肯定的意見 保護者 91% 教職員 45% 否定的意見 保護者 9% 教職員 45% 分からない 教職員 10%	自発的に元気な挨拶ができていると思う。 登校の見守り活動の時にきちんとあいさつができていた。 子どもの性格により、恥ずかしそうな子や、何も言えない子がいる。	登下校時や、各教室で指導を続け、少しずつ元気な挨拶ができるようになってきた。今後も引き続き、児童への指導を続けていきたい。
	5 児童は思いやりのある心が育っている。	特別の教科「道徳」の時間を中心に、全教育活動を通して道徳性の育成を図った。 各学級で朝の会や終わりの会の時に友達のよかったところを発表する時間を設定している。 玄関ホールに友達のよさ、頑張っているところを紹介する場を設けている。	肯定的意見 保護者 91% 教職員 91% 否定的意見 保護者 6% 教職員 9% 分からない 保護者 3%	よく育っていると思う。	道徳の授業の充実や様々な体験活動、交流活動の実践を通して、豊かな心を育てていきたい。 頑張っているところやよかったところを伝え合うことで、お互いを認め合う雰囲気作りを行うことができた。

	アンケート項目	取 組	評価結果	関係者評価委員・保護者意見等	考察・改善
児童の様子	6 児童は、外で遊ぶなど進んで体を動かしている。	毎週木曜日のわくわくタイムで児童と一緒に遊ぶ時間を設けている。 陸上の課外体育に4年生以上が取り組み、体力の向上やスキルアップに努めた。 冬場には、なわとびや持久走の全校行事を計画し、児童が積極的に体力作りに取り組めるよう工夫した。	肯定的意見 保護者 97% 教職員 100% 否定的意見 保護者 3% 教職員 0%	外部から見ると、体力も人間力も健やかな成長を見せてくれるので驚く。	わくわくタイム等で多学年との交流を深めながら、しっかりと体を動かすことができた。 課外活動では児童の特性や意欲を大事にして指導し、体力アップやスキルアップにつながった。 初めてなわとび大会を開催することで、なわとびに対する児童の意欲が高まった。 マラソン記録会に向けて、毎日自分の目標を設定して練習を頑張り、体力作りに取り組むことができた。
	7 児童は、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的習慣が身に付いている。	全校児童を対象に生活リズム調査を実施し、結果を保護者に知らせた。 保健便りや掲示コーナーを活用して、子どもや保護者への健康面での啓発を行った。	肯定的意見 保護者 86% 教職員 82% 否定的意見 保護者 14% 教職員 18%	掲示物が自然と目に入るように工夫されている。	就寝時刻が遅い児童や保護者に対して個別に指導していく必要がある。 工夫された掲示物に児童が関心を持ち、健康についていろいろ考えさせることができた。
生徒指導	8 学校は、いじめや差別のない楽しい学校づくりに努めている。	いじめに関して訴えがあった場合は、情報を共有して共通理解を図り、全教職員で対応した。 教職員の感度を高め、日常の児童の言動、日記、毎月の生活アンケートなどで児童の実態把握に努めている。定期的に情報交換の場（毎日の職員朝礼、月例職員会議）を設け、児童の様子や問題行動等について共通理解を図り、全職員で早期対応するよう努めた。	肯定的意見 保護者 88% 教職員 100% 児童 100% 否定的意見 保護者 9% 教職員 0% 児童 0% 分からない 保護者 3%	児童数が少ないので仲間意識が強く、先生方の目も一人一人に行き届いているのではないかと思う。 家庭と学校でしっかりとチェックをしてほしい。 保護者の肯定的意見が8割を超えている。引き続ききめ細やかな取組に期待する。 保護者の否定的意見が若干見られる。小さな学校なので0%をめざしてほしい。 保護者と教職員のアンケートの間にギャップがあるのが気になる。	いじめられていると訴えてきた児童の話をしっかりと聞き、保護者との連携を図ることにより事態は改善して児童・保護者からの訴えもなくなった。 生活アンケートと教育相談を実施し、児童の気持ちをくみとる機会を作り、いじめへと発展することがないように努めた。今後も、子どものサインに早く気づき、話を聴くなど対応に努めていく。 教職員間の情報交換を引き続き密に行いたい。
	9 学校は、小田の人・自然・文化を生かした教育活動の充実に努めている。	コロナウイルス感染症の影響で、1学期には外部から講師を招くことができなかった。2学期以降、少しずつそのような活動ができるようになってきた。 さつまいもの収穫、水生生物調査、バードウォッチングなど、地域のよさに目を向けた体験活動を積極的に行った。 小田深山での体験活動（5年）やスキー・スノボ教室等、小田ならではの体験活動を実施した。	肯定的意見 保護者 100% 教職員 73% 否定的意見 保護者 0% 教職員 27%	コロナの影響で十分な活動ができなかったと思うが、コミスクをもっと利用していただけたらと思う。 地域人材を活用した学習は、郷土への思いとか、気付きになる大切な取組だと感じる。 二宮幸己氏の学習成果を学芸会で発表した取組が素晴らしいと参加された方から伺った。 小田にしかない地域の偉人や特産物の勉強によって自分たちの地域を知り、誇りに思う気持ちが芽生えて良いことだと思う。 CSを通して地域と連携した特色ある教育活動の充実が図られていると思う。 地域の様々なことに関して、興味を大いに持ってほしい。 一人一人を大切にしたい学芸会での姿は見応えがあった。	保護者からは肯定的意見が100%となり、2年目を迎えたコミュニティ・スクールの取組が実を結んできた。 コロナウイルス感染症の影響で、ふるさと学習に関する活動が十分にできなかったことが残念だった。状況がよくなれば、感染症対策をしっかりと行いながら、自然や文化を生かした教育活動の充実に努めていきたい。 学芸会で、4年生がふるさと学習で学んだことを生かして、地域の偉人である二宮幸己さんを題材にした劇を演じ、好評を博した。
教育活動					

	アンケート項目	取組	評価結果	関係者評価委員・保護者意見等	考察・改善
児童理解	10 学校は、児童理解や信頼関係づくりに努めている。	保護者や地域からの問い合わせや要望に対しては、迅速かつ誠実に対応するよう努めている。また、職員間で情報を共有するよう、報告・連絡・相談を徹底した。 電話や来校者に対して、明るい挨拶や丁寧な対応をするよう、全職員で共通理解を図り、実践した。	肯定的意見 保護者 88% 教職員 100% 否定的意見 保護者 9% 教職員 0% 分からない 保護者 3%	子どもが病気の時、先生からの声掛けで安心することができた。	保護者や地域からの相談等については、報告・連絡・相談を確実にを行い、早めの対応、確実な返答、誠実な対応に努めた。 電話や来校者への誠意ある対応や保護者との人間関係作りを今まで以上に心掛けていきたい。情報交換を積極的に行うことで、すべての教職員で、児童の様子を共通理解することができた。
健康・安全教育	11 学校は、健康安全や防災教育の充実に努めている。	発生後丸十年を迎えた東日本大震災など、具体的な事例を紹介し、災害や事故・事件から身を守るための指導を学年に応じて指導した。 集団下校時には交通安全面だけでなく、不審者対応、水の事故防止など、身を守る行動についても継続指導している。 幼稚園・中学校と連携した避難訓練を実施するなど、実際の場を想定した安全教育を計画的に行った。	肯定的意見 保護者 100% 教職員 91% 否定的意見 保護者 0% 教職員 9%	訓練の時、児童の真剣に取り組む姿勢に感心した。事故がないということは取組の成果だと思う。 登下校時の横断歩道の渡り方、高学年児童の低学年児童を見守る姿にいつも感心している。	児童の遊び方について保護者等から情報が入った場合には教職員で情報を共有し、児童に対して安全な生活について指導した。 「自分の命は自分で守る」ことを前提に安全教育に努めた。具体的な行動について繰り返し指導してきた。 幼・小・中合同の避難訓練の回数を増やして内容を工夫するとともに、地域の防災活動にも参加して連携を図りたい。
	12 学校は、児童の病気やけがなどの対応を適切に行っている。	職員朝礼などで、欠席の状況や気になること等に関する情報交換を積極的に行った。 児童の健康状態に何か気になることがあれば、家庭に電話連絡を入れたり、連絡帳で知らせたりした。	肯定的意見 保護者 100% 教職員 100% 否定的意見 保護者 0% 教職員 0%	参観日に予定していた講演会の場所を、寒さを考慮して変更するなど、子ども達の健康を第一に考えた教育活動が展開されていると思う。 大きなけがや事故はないが、日頃からの声掛けが必要だと思う。	児童が欠席したときや学校で体調不良になった場合には、学校より電話連絡を行い、健康状態等の確認を行った。 連絡ノートや電話でのやり取りを通して、家庭の様子を知るとともに適切な対応につながり、100%の肯定的意見となった。
	13 学校は、子どもが安心して学べるような施設環境になっている。	毎月20日には、教職員が学校敷地内を巡視し、遊具や校内の施設の安全点検を実施している。遊具の点検については、専門業者にも依頼した。 理科室の薬品庫は常時施錠している。使用後は日誌に記入して管理職がチェックを行うなど、管理を徹底した。	肯定的意見 保護者 94% 教職員 100% 否定的意見 保護者 6% 教職員 0%	学校と協力して取り組んでいきたい。	点検担当者を毎月変えることにより、細かいところまで常に確認していくようにした。 専門業者から指摘を受けた事例について直ちに改善した。 外回りの物も含めて、今後、児童にとって危険な物はないかを、複数の目で常にチェックし、安全管理を徹底していきたい。
保護者・地域との連携	14 学校は、学校・学級通信・HPなどで積極的に児童の活動の様子等を伝えている。	児童の活動をホームページで紹介している。 学校だよりや学級通信を発行し、子どもたちの様子や学校からのお知らせを伝えた。	肯定的意見 保護者 88% 教職員 100% 否定的意見 保護者 6% 教職員 0% 分からない 保護者 6%	各地区の回覧などで学校行事の様子を知ることができる。 行事ごとに学校からその時に様子を発信していただいている子ども達のその時の気持ちなどを知ることができて良かったです。 子ども達の活動を広く発信しようと努めている。 地域行事や伝統行事等に子ども達に関わる時間がとれると良い。 PTA総会が中止になったこともあり、教職員の名前と顔が分からない人がある。	活動の様子を、随時、ホームページに載せて、多くの方が見ていただいた。 学校だよりや学級通信で行事に関する児童の感想等を掲載して、学校や児童の様子を知ってもらうことができた。 今後も様々な方法で、保護者や地域等への周知を積極的に行っていきたい。 今年度のPTA総会が中止になり、教職員の紹介ができなかったため、3年度に合わせて行う。

		<p>教職員がそれぞれの自分の持ち味を生かし、互いにカバーし合って、教育活動に当たっている。 教職員同士が情報交換を行い、よりよい効果的な指導のためにどうすればよいかなど相談する場を多く設けた。</p> <p>少人数のよさを生かし、一人一人の児童への積極的な声掛けに努めている。</p>			<p>全教職員が意欲を持って積極的に児童と関わるよう努力している。 保護者の願いや思いをしっかりと理解するとともに、教職員の考えが保護者に伝わるように、今後も全員が協力しながら児童・保護者と接していきたい。</p> <p>教職員からの積極的な声掛けは、様々な場での児童の安心感、励みにつながっている。今後も一人一人への称賛を続けていきたい。見やすく分かりやすい資料の提示、具体物を用いて実際に児童に操作・体験させるなどの工夫をした。</p>